

**PAINT**  
YACHT & BOAT

# seaJet

総合カタログ



今日からは風と波を友に。





# seajet

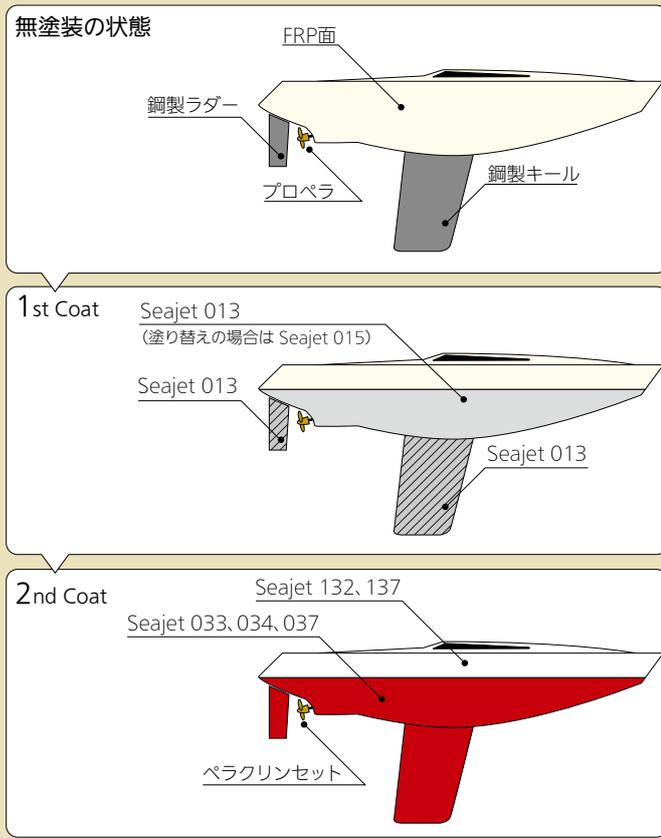
## Seajetとは？

「Seajetシリーズ」は、ボート・ヨットの性能と美しさを最大限に活かすために開発された我が国で初めてのプレジャーボート・ヨット専用塗料です。船舶用塗料の総合メーカーとして、90年以上にわたり築き上げたノウハウを注ぎ込んだ高性能製品群は、発売以来、多くのレースや海洋冒険、レジャークルージングなど様々なシーンでボート&ヨットスポーツを彩ってきました。これからも私達、中国塗料は、海とマリンスポーツの未来を応援していきます。

## Index

	タイプ	荷姿 標準塗付量 (ハケ塗りの場合)	PAGE	
<b>BOTTOM</b> 船底防汚塗料	Seajet 033	自己研磨型船底防汚塗料 (クルージング用)	2ℓ缶 7.0m <sup>2</sup> /1缶 (50μ×2回塗り)	4
	Seajet 034	加水分解型船底防汚塗料 (クルージング用/アルミ艇も可)	2ℓ缶 6.8m <sup>2</sup> /1缶 (50μ×2回塗り)	5
	<b>NEW</b> Seajet 037	加水分解型船底防汚塗料 (クルージング用/アルミ艇も可)	2ℓ缶 6.4m <sup>2</sup> /1缶 (50μ×2回塗り)	6
<b>UNDER COAT</b> アンダーコート	Seajet 013	エポキシ樹脂系プライマー (金属部、FRPオズモシス防止用、新艇用)	2ℓセット 5.5m <sup>2</sup> /1セット (65μ×2回塗り)	7
	Seajet 015	プライマー兼バインダー (新艇・塗り替え共用)	2ℓ缶 11m <sup>2</sup> /1缶 (40μ×1回塗り)	8
	Seajet 020	エポキシ樹脂系 アルミ艇用プライマー	2kgセット 6.8m <sup>2</sup> /1セット (65μ×2回塗り)	9
<b>PROPELLER</b> プロペラ用塗料	ペラクリンセット ジュニア	プロペラ専用塗料 (プライマー・防汚塗料・ハケのセット)	220gセット 0.6m <sup>2</sup> /1セット (2回塗り)	10
	ペラクリンセット mini	プロペラ専用塗料 (プライマー・防汚塗料・ハケのセット)	110gセット 0.3m <sup>2</sup> /1セット (2回塗り)	10
<b>HULL</b> ハル用塗料	Seajet 132	ポリウレタン系上塗り塗料 (2液型/スプレー塗装専用)	1.2kgセット	11
	Seajet 137	アクリル系上塗り塗料 (1液型)	0.8ℓ缶	11
<b>REMOVER</b> 剥離剤	Seajet 441	塗膜剥離剤 (マイルドな中性タイプ)	2ℓ缶	12
<b>THINNER</b> シンナー	Seajet シンナー A	015、033、034、037、137 共用シンナー	0.5ℓ缶	13
	Seajet シンナー B	132用シンナー	0.5ℓ缶	13
	Seajet シンナー D	013、020用シンナー	0.5ℓ缶	13

## 製品について



プレジャーボート&ヨットの多くは、部位ごとの目的に応じ、一例として左図のような素材で作られています。

### 1st Coat

これら複数の素材に船底防汚塗料を塗装するために、まずは各素材と船底防汚塗料との「つなぎ」の役割をするバインダーコート塗装を塗装します。鋼製キール、鋼製ラダーには鉄と防汚塗料とのつなぎの役割に加え、サビを防ぐ機能(防食機能)を合わせもった「Seajet 013」を塗装します。そして、FRPゲルコート面には「Seajet 015」を塗装します。

また、「Seajet 015」はFRPゲルコート面のみでなく、残留した旧塗膜への塗装も可能ですので、新艇・塗り替えのどちらの場合でもご使用いただけます。

### 2nd Coat

バインダーコート塗装に続き、船底防汚塗料を塗装します。海水と直に接する船底部分は海藻やフジツボなどが付着しやすく、これら海中生物の付着は艇の運動性能を著しく低下させるのみでなく、FRP船体そのものにダメージを与えます。海中生物の付着から愛艇を護る船底防汚塗料として、当社が世界に誇る「Seajet 033」、色鮮やかで優れた防汚性能を持つ「Seajet 034」、そして、防汚性能が大幅にアップした「Seajet 037」があります。

また、高速回転に耐える付着力と防汚性能を合せもったプロペラ専用塗料「ペラクリンセット」、ハル用には「Seajet 132」「Seajet 137」をラインナップしております。塗装箇所に応じて正しくお使いいただくことで、艇の性能を充分に発揮していただけます。

## 船底用防汚塗料の艇のサイズ別使用量目安

### ■ セイルボートの場合

ハケ塗りの場合	バインダー	船底防汚塗料			
	Seajet 015	Seajet 033	Seajet 034	Seajet 037	
20フィート	2.0	2.9	3.4	3.5	
26フィート	2.8	4.1	4.8	4.9	
30フィート	4.0	5.7	6.7	6.8	
35フィート	4.7	6.8	7.9	8.1	
38フィート	5.5	8.0	9.3	9.5	
44フィート	6.5	9.4	11.0	11.2	
51フィート	7.9	11.4	13.3	13.6	
標準膜厚 (単位: ℓ)	40μm × 1回	50μm × 2回	50μm × 2回	50μm × 2回	

### ■ パワーボートの場合

ハケ塗りの場合	バインダー	船底防汚塗料			
	Seajet 015	Seajet 033	Seajet 034	Seajet 037	
20フィート	2.0	2.9	3.4	3.5	
26フィート	3.8	5.4	6.3	6.5	
30フィート	5.9	8.5	9.9	10.2	
35フィート	8.9	12.8	14.9	15.3	
38フィート	10.4	15.0	17.5	18.0	
44フィート	12.0	17.3	20.2	20.7	
51フィート	12.9	18.5	21.6	22.1	
標準膜厚 (単位: ℓ)	40μm × 1回	50μm × 2回	50μm × 2回	50μm × 2回	

上の表は、当社経験値による一般的な平均使用量です。船体のメーカーおよびデザインにより使用量は変化しますので、より正確な使用量を求める時は以下の計算式をご使用下さい。(計算式で算出した船底防汚塗料使用量は、必ず塗り切ることが防汚性能を維持するポイントです。)

**セイルボート**  $0.5 \times \text{水線長} \times (\text{吃水} + \text{全幅}) = \text{船底部面積}$

全幅: 3.4m  
吃水: 1.7m  
水線長: 7.6m

まず、船底部の面積を求めます。  
 $0.5 \times 7.6 \times (1.7 + 3.4) = 19.4\text{m}^2$   
 次に、求めた面積を膜厚50μ×1回で塗装する場合の使用量を求める。Seajet033の場合、7.0m<sup>2</sup>/ℓなので  
 $19.4\text{m}^2 \div 7.0\text{m}^2/\ell = 2.77\ell$   
 標準仕様塗膜は、50μ×2回塗りなので最終的に必要な塗料の量を求めると  
 $2.77\ell \times 2 = 5.5\ell$  (約3缶)

**パワーボート**  $\text{水線長} \times (\text{吃水} + \text{全幅}) = \text{船底部面積}$

全幅: 3.0m  
吃水: 0.7m  
水線長: 8.8m

まず、船底部の面積を求めます。  
 $8.8 \times (0.7 + 3.0) = 32.6\text{m}^2$   
 次に、求めた面積を膜厚50μ×1回で塗装する場合の使用量を求める。Seajet033の場合、7.0m<sup>2</sup>/ℓなので  
 $32.6\text{m}^2 \div 7.0\text{m}^2/\ell = 4.66\ell$   
 標準仕様塗膜は、50μ×2回塗りなので最終的に必要な塗料の量を求めると  
 $4.66\ell \times 2 = 9.3\ell$  (約5缶)

標準塗付量	1ℓで50μ×1回塗装する場合 (1缶2ℓあたり、50μ×2回)	Seajet 033	Seajet 034	Seajet 037
		7.0m <sup>2</sup> /ℓ	6.8m <sup>2</sup> /ℓ	6.4m <sup>2</sup> /ℓ

世界が認めた防汚塗料の  
スタンダード。

# seajet 033

## 船底防汚塗料(クルージング用)

FRP 船用 | 1 液型 | ハケ | エアスプレー | ローラー | シンナー A | 7 m<sup>2</sup>

Seajetシリーズの主力製品「Seajet 033」は、プレジャーボート・ヨット用塗料の代表的な製品として広くご愛顧いただいております。特殊親水性ポリマーの作用により、係留している時も防汚剤が少しずつ溶け出し、船底の汚れを防止してくれます。また、稼働率が少なく係留期間が長い場合は、静置防汚性の優れた「Seajet 033」が最適です。



- 自己研磨型船底用防汚塗料
- 容量：2ℓ
- カラーバリエーション



※印刷のため実際の色とは異なります。

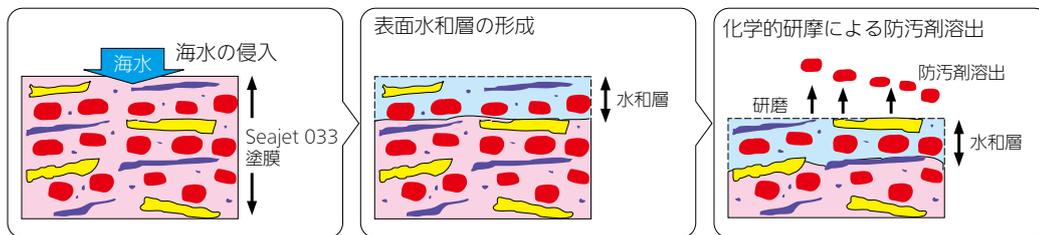
### ■ 特長

- 1 有機錫化合物を含みません。
- 2 塗膜が化学的に溶解し、自己研磨作用が働きます。
- 3 塗膜の自己研磨作用が抵抗の増加を抑制します。

「Seajet 033」の塗膜形成樹脂は、特殊親水性ポリマーで構成されています。塗膜が海水に浸かると塗膜表面層が水分子を吸着して樹脂と水分子が結合した一種の水和現象を起こし、表面層から徐々に溶解していきます。このように化学作用によって溶解するいわゆる「自己研磨作用」が働きます。即ち、従来型の防汚塗料のような抜け殻(スケルトン層)を形成しないので、塗膜の表面は常に滑らかな状態となります。また、この特殊親水性ポリマーは海水中で塗膜からの防汚剤の溶出を定期的に行ないますので、長期間安定した防汚効果を発揮します。

更に「Seajet 033」はプレジャーボート・ヨットの艇速、係留等の走航条件や、内海および近海的环境をも考慮して設計しておりますので、プレジャーボート・ヨットにとって理想的な船底防汚塗料です。

### ■ 防汚メカニズム



- 「シャークホワイト」は浸水後1カ月程度で、没水部は色がホワイトになります。
- 本製品はアルミ艇には使用できません。

- 旧塗膜はできるだけ剥がして下さい。不可能な場合や旧塗膜がセルフポリッシング型塗料の場合は、バインダーコートとして「Seajet 015」を使用して下さい。但し、タワシ等でこすり洗いができる場合は直塗り可能です。

## Seajet 033

### 塗料性状

重量VOC	27.7wt%				
塗付量(理論値)	172~343g/m <sup>2</sup>				
膜厚	ウェット	105~210μm			
	ドライ	50~100μm(※)			
気温	5℃	10℃	20℃	30℃	
乾燥時間 (ドライ膜厚:50μm)	指触	3時間	2時間	1時間	30分
	硬化	12時間	7時間	5時間	4時間
塗装間隔 (2回塗りの場合)	最短	12時間	7時間	5時間	4時間
	最長	—	—	—	—
没水までの時間	最短	24時間	16時間	12時間	8時間

### 塗装条件

塗装方法	エアスプレー、ハケ、ローラー
気象	温度: 0℃以上、湿度: 85%RH以下
希釈シンナー	Seajet シンナー A
希釈率(対重量)	エアスプレーの場合 10~20% ハケ及びローラーの場合 0~5%
適合下塗	Seajet 015

### 危険物表示

消防庁登録記号	0423SB
引火点	30.0℃
消防法危険物区分	第二石油類
爆発限界(体積%)	下限 0.5% 上限 7.0%
有機溶剤区分	第二種有機溶剤

### 備考

色等により、数値が若干異なる場合があります。

(※)ドライ膜厚 50μm×2回塗りが標準仕様です。

亜酸化銅フリーで色鮮やか。  
アルミ艇にも塗装可!

# seajet 034

## 船底防汚塗料(クルージング用)

FRP 船用 | アルミ 船用 | 1 液型 | ハケ | エアスプレー | ローラー | シンナー A | 6.8 m<sup>2</sup>

船底用塗料の常識を破る美しい色彩を誇る亜酸化銅フリー船底用塗料「Seajet 034」で、愛艇をドレスアップしてみませんか? カラーバリエーションは、輝く白さのビビッドホワイト、鮮やかな発色のビビッドブルー、ビビッドレッド。そして、高級感溢れる漆黒のビビッドブラック。塗膜は溶け易く、表面が滑らかになる加水分解タイプなので、防汚性能にも優れています。



- 加水分解型船底防汚塗料
- 容量: 2ℓ
- カラーバリエーション

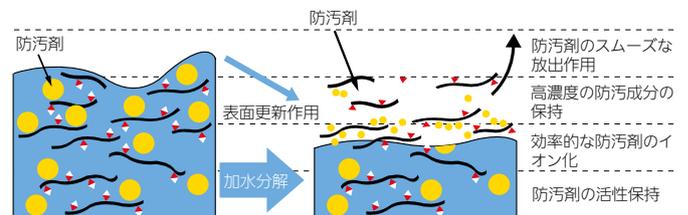


※印刷のため実際の色とは異なります。

### ■ 特長

- 1 亜酸化銅フリーのため、色が鮮やかです。
- 2 塗膜の自己研磨作用が水流摩擦抵抗の増加を抑制します。
- 3 有機錫化合物を含みません。
- 4 加水分解により塗膜が溶解し、自己研磨作用が働くので塗膜の蓄積がありません。

### ■ 加水分解メカニズム



### ■ 防汚メカニズム

1. 卓越した表面更新性  
新開発の金属含有ポリマーで海水中で塗膜表面からイオン交換反応することにより長期間に渡る優れた表面更新作用を発揮し、防汚性だけでなく塗膜を平滑にし、船体の摩擦抵抗を減少させます。
2. 防汚剤の円滑な放出作用  
ポリマーが安定して加水分解し、表層の防汚剤が効果的に除放されるため、長期間にわたり安定した防汚剤を発揮します。



- 「Seajet 033」と混合しないで下さい。
- 「Seajet 033」の上に塗装する場合はバインダーをご使用下さい。

## Seajet 034

### 塗料性状

重量VOC	39.3wt%				
塗付量(理論値)	146~292g/m <sup>2</sup>				
膜厚	ウェット	116~232μm			
	ドライ	50~100μm(※)			
気温	5℃	10℃	20℃	30℃	
乾燥時間 (ドライ膜厚:50μm)	指触	3時間	2時間	1時間	30分
	硬化	6時間	5時間	4時間	3時間
塗装間隔 (2回塗りの場合)	最短	8時間	7時間	6時間	5時間
	最長	—	—	—	—
没水までの時間	最短	16時間	12時間	10時間	8時間

### 塗装条件

塗装方法	エアスプレー、ハケ、ローラー
気象	温度: 0℃以上、湿度: 85%RH以下
希釈シンナー	Seajet シンナー A
希釈率	エアスプレーの場合 0~10% ハケ及びローラーの場合 0~3%
適合下塗	Seajet 015 等

### 危険物表示

消防庁登録記号	0487TB
引火点	24℃
消防法危険物区分	第二石油類
爆発限界(体積%)	下限 0.5 上限 12.0
有機溶剤区分	第二種有機溶剤

### 使用上の注意

- 1, 使用前に塗料を均一に攪拌してから使用して下さい。
- 2, 塗装時は換気を十分行って下さい。

### 備考

色等により、数値が若干異なる場合があります。  
(※)ドライ膜厚 50μm×2回塗りが標準仕様です。

防汚性能を大幅にアップ!  
いつまでも美しい船底を。

# seajet 037

## 船底防汚塗料(クルージング用)

FRP 船用 | アルミ 船用 | 1 液型 | ハケ | エアスプレー | ローラー | シンナー A | ハケ・ローラー 6.4㎡ | エアスプレー 5.2㎡

「Seajet 037」は、従来の亜酸化銅フリータイプの防汚塗料に比べ、防汚性能が大幅にアップ! 没水後も美しい船底を維持できるように更なる高性能な塗料を開発しました。



- 加水分解型船底防汚塗料
- 容量: 2ℓ
- カラーバリエーション

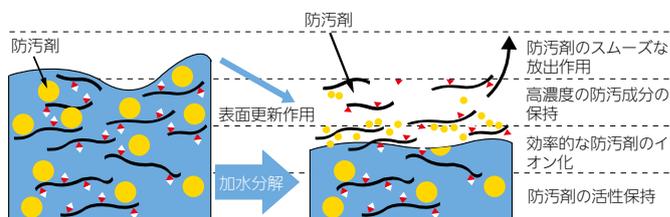


※印刷のため実際の色とは異なります。

### 特長

- 1 亜酸化銅を含まないので、ブルーイングが無く、没水後も美しい船底を維持します。
- 2 従来の亜酸化銅フリータイプに比べ、防汚性能が大幅にアップしました。特に、フジツボ等の動物種の付着に対する防汚性能が大きく向上しました。
- 3 成分中に亜酸化銅を含まない環境に優しい塗料です。

### 加水分解メカニズム



#### ■ ハケ・ローラー塗装について

「Seajet 037」の1年対応膜厚は、100μm以上になっております。一般に販売されているハケ・ローラーでは2回塗りでも100μmに達しません。よって、厚膜型ハケ・ローラーをお求めになるか、一般のハケ・ローラーを使用する場合は、3回塗りをお勧めします。



#### ■ 没水後の塗膜表面について

「Seajet 037」は、進水後、暫くすると生物被膜が形成され、この生物被膜が塗膜表面とともに脱落する場合があります。この現象が塗膜の剥離に見えますが、正常な塗膜の更新であり、性状ならびに性能等に問題ございませんので、ご安心してご使用下さい。

## Seajet 037

### 塗料性状

重量VOC	35.9wt%				
塗付量(理論値)	344g/㎡				
膜厚	ウエット	240μm			
	ドライ	100μm(※)			
気温	5℃	10℃	20℃	30℃	
乾燥時間 (ドライ膜厚:50μm)	指触	3時間	2時間	1時間	30分
	硬化	6時間	5時間	4時間	3時間
塗装間隔 (2回塗りの場合)	最短	8時間	7時間	6時間	5時間
	最長	—	—	—	—
注水までの時間	最短	16時間	12時間	10時間	8時間

### 塗装条件

塗装方法	エアスプレー、ハケ、ローラー
気象	温度: 0℃以上、湿度: 85%RH以下
希釈シンナー	Seajet シンナー A
希釈率	エアスプレーの場合 0~10% ハケ及びローラーの場合 0~3%
適合下塗	Seajet 015 等

### 危険物表示

消防庁登録記号	0487TB
引火点	24℃
消防法危険物区分	第二石油類
爆発限界(体積%)	下限 0.5 上限 12.0
有機溶剤区分	第二種有機溶剤

### 使用上の注意

- 1, 使用前に塗料を均一に攪拌してから使用して下さい。
- 2, 塗装時は換気を十分行って下さい。

(※)ドライ膜厚 50μm×2回塗りが標準仕様です。

FRPのオズモシスも防止  
海中防サビの決定版!

# seajet 013

## マルチプライマー



「Seajet 013」は、タンカーやLPG船などの大型鋼船で培った防食テクノロジーが結集した究極の防食塗料です。海中の過酷な条件下で鉄をサビから守ります。鋼製ラダー、キール部の他、FRPのオズモシス防止対策としてご使用いただけます。



- エポキシ樹脂系防食塗料 (金属部、FRPオズモシス防止用、新艇用)
- 容 量: 2ℓ / 1セット

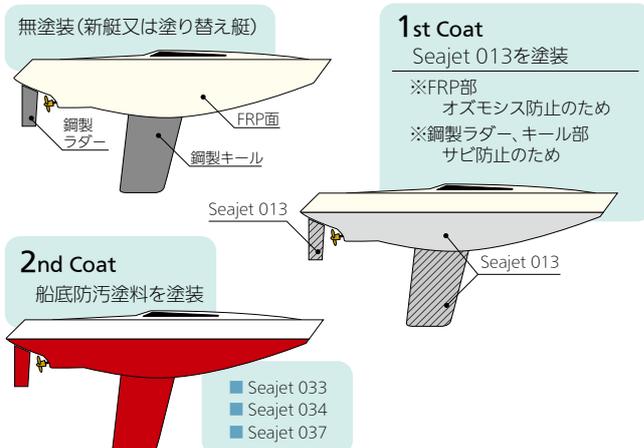
### 特長

- 1 防汚塗料の直塗りが可能! (バインダー不要)。
- 2 扱いやすい混合比(主剤:硬化剤=4:1 / 体積比)。
- 3 耐海水性に優れ、海中で長期間の防食性を発揮します。
- 4 付着性、耐衝撃性、耐摩耗性に優れています。
- 5 環境に優しい低VOC塗料です。
- 6 厚膜塗装が可能です。
- 7 タールを含まないので、安全性に優れています。

#### ワンポイントチェック!

「オズモシス」とは、FRP船体の水線下に発生する「水ぶくれ」のようなもの。オズモシスの防止対策としてFRP部への水分の侵入を避けることであり、防食塗料「Seajet 013」を塗装することで、愛艇の性能を永く維持することが可能になります。

### 用途



- 付着性確保のため、塗装間隔を守って防汚塗料を塗装して下さい。
- 最長塗装間隔を超えた場合は、「Seajet 013」の再塗装を推奨します。

## Seajet 013

### 塗料性状

混合比率(質量比)	主剤:硬化剤 = 86.2 : 13.8(体積比は80:20)				
色	ライトグレー				
容量NV	45±2%				
重量VOC	37wt%				
塗付量(理論値)	358g/m <sup>2</sup>				
膜厚	ウェット	281μm			
	ドライ	125μm			
気温	5℃	10℃	20℃	30℃	
乾燥時間 (ドライ膜厚:125μm)	指触	5時間	4時間	3時間	2時間
	硬化	18時間	15時間	8時間	6時間
塗装間隔 (防汚塗料 塗装)	最短	18時間	15時間	8時間	6時間
	最長	5日	4日	3日	2日
可使時間	18時間	14時間	7時間	4時間	
熟成時間	-	-	-	-	

### 塗装条件

塗装方法	エアスプレー、ハケ、ローラー
気象	温度: 5℃以上、湿度: 85%RH以下
希釈シンナー	Seajet シンナー D
希釈率	エアスプレーの場合 0~10% ハケ及びローラーの場合 0~5%
適合上塗	Seajet 033, Seajet 034, Seajet 037

### 危険物表示

	主剤	硬化剤
消防庁登録記号	0154SB	015654
引火点	21.2℃	22.7℃
消防法危険物区分	第二石油類	第二石油類
爆発限界(体積%)	下限 1.10% 上限 15.7%	
有機溶剤区分	第二種有機溶剤	

### 使用上の注意

- 1, 主剤と硬化剤を規定の比率で均一になるよう十分攪拌混合して下さい。
- 2, 可使時間に制限がありますので必要量のみ調査して下さい。

### 備考

- 1, 「Seajet 013」を長時間をあげて塗り重ねる時は、塗り重ねる面の汚れ等を十分落とし、塗装間隔を守って塗装して下さい。
- 2, 船底防汚塗料「Seajet 033, 034, 037」との塗装間隔は厳守して下さい。

新艇にも塗り替えにも使える  
高性能バインダー。

# seajet 015

## マルチバインダー



新艇に塗装する場合のFRPゲルコート面と塗り替えの際の旧塗膜面それぞれの塗装面に高いバインダー性能を発揮します。



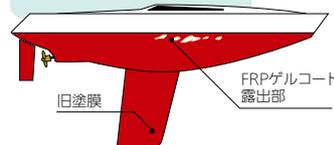
- プライマー 兼 バインダー (新艇・塗り替え艇共用)
- 容 量: 2ℓ

### 特長

- 1 新艇用にも塗り替え用にも使えるので、とても便利です。
- 2 耐水性、耐久性が優れています。
- 3 FRP(ゲルコート)面との密着性が優秀です。
- 4 1液型の速乾性なので、短日数の塗装や補修が可能です。

### 用途

塗装艇(塗り替え)



#### 1st Coat

Seajet 015を塗装  
(旧塗膜の上に塗装)

旧塗膜やFRPゲルコート露出部と船底防汚塗料との付着性を高めるため

2nd Coat  
船底防汚塗料を塗装



- Seajet 033
- Seajet 034
- Seajet 037

FRP(ゲルコート)面の露出部

- FRP(ゲルコート)面の露出部にも使用いただけますので、塗り替えの際に便利です。
- 新艇にはオズモシス防止や鉄部のさび止め効果のある「Seajet 013」を推奨します。
- 新艇ゲルコート面に塗装する場合は、必ず脱脂及び面粗しを行って下さい。

## Seajet 015

塗料性状

色	シルバー				
容量NV	30±2%				
重量VOC	54.8wt%				
塗付量(理論値)	145g/m <sup>2</sup>				
膜厚	ウエット	133μm			
	ドライ	40μm			
気温	5℃	10℃	20℃	30℃	
	乾燥時間 (ドライ膜厚:40μm)	指触 40分	30分	20分	15分
塗装間隔 (防汚塗料 塗装)	硬化	4時間	3時間	2時間	1.5時間
	最短	5時間	4時間	3時間	2時間
	最長	—	—	—	—

塗装条件

塗装方法	エアスプレー、ハケ、ローラー
気象	温度: 0℃以上、湿度: 85%RH以下
希釈シンナー	Seajet シンナー A
希釈率	エアスプレーの場合 15~25% ハケ及びローラーの場合 0~5%
適合上塗	Seajet 033、Seajet 034、Seajet 037

危険物表示

消防庁登録記号	017002
引火点	21.5℃
消防法危険物区分	第二石油類
爆発限界(体積%)	下限 1.1% 上限 8%
有機溶剤区分	第二種有機溶剤

備考

VOC量は、塗料配合から計算した理論値です。

究極のアルミ合金専用プライマー！

# seajet 020

## アルミ艇専用プライマー

アルミ船用
2液型
ハケ
エアスプレー
ローラー
シンナー D
6.8 m<sup>2</sup>

Seajet 020は、アルミ艇の船底を海中の過酷な腐食環境から保護するアルミ艇専用プライマーです。



- エポキシ樹脂系アルミ艇用プライマー
- 容量: 2kgセット

### ■ 特長

- 1 アルミ材との付着性が優れています。
- 2 耐水性が優れています。
- 3 塗装作業性に優れ、厚膜塗装が可能です。
- 4 タールを含まないので安全性に優れています。



■ 船底防汚塗料は亜酸化銅を含まないタイプをご使用下さい。

アルミ艇と船底防汚塗料の適合性	Seajet 033	×
	Seajet 034	○
	Seajet 037	○

■ 船体腐食防止のため、アノード併用を推奨します。

### ■ 推奨塗装仕様



※ その他、ハル、デッキなどのアルミ面にも同様に Seajet 020 を塗装後、各種上塗り塗料を塗装して下さい。

## Seajet 020

### 塗料性状

混合比率(質量比)	主剤：硬化剤 = 3：1				
色	ライトグレー				
容量NV	52±2%				
重量VOC	33w t%				
塗付量(理論値)	103~259g/m <sup>2</sup>				
膜厚	ウェット	86~216μm			
	ドライ	50~125μm			
気温	5℃	10℃	20℃	30℃	
乾燥時間 (ドライ膜厚:50μm)	指触	3.5時間	2.5時間	1.5時間	1時間
	硬化	38時間	28時間	16時間	12時間
塗装間隔 (2回塗りの場合)	最短	24時間	18時間	10時間	8時間
	最長(※)	—	—	—	—
可使時間	24時間	18時間	12時間	8時間	
熟成時間	30分	—	—	—	

### 塗装条件

塗装方法	エアスプレー、ハケ、ローラー
気象	温度: 5℃以上、湿度: 85%RH以下
希釈シンナー	Seajet シンナー D
希釈率	エアスプレーの場合 0~10% ハケ及びローラーの場合 0~5%
適會上塗	Seajet 013、Seajet 015、Seajet 132 等

### 危険物表示

	主剤	硬化剤
消防庁登録記号	015101	019001
引火点	22.5℃	26.5℃
消防法危険物区分	第二石油類	
爆発限界(体積%)	下限 1.10 上限 12	
有機溶剤区分	第二種有機溶剤	

### 使用上の注意

- 1, 主剤と硬化剤を規定の重量(質量)比率で均一になるよう十分攪拌混合して下さい。
- 2, 可使時間に制限がありますので必要量のみ調べて下さい。

(※) 最長塗装間隔は、塗り重ねられる塗料によって異なりますので、お問い合わせ下さい。

プロペラのために開発した  
実力のシステム。

# ペラクリンセット Jr. ペラクリンセット mini

## プロペラ専用塗料

高速回転に負けない優れた付着力で、プロペラの汚れを防ぎます。  
プライマー（主剤、硬化剤、付着強化剤）、防汚塗料、ハケがセット  
になっているので、準備や作業が簡単です。



### ■ 特長

- 1 プライマーはプロペラ面への付着性に優れています。
- 2 防汚塗料はシリコン系特殊合成樹脂系で、蓮の葉の表面のように水を弾く性質があるため、海中生物が滑り落ち、良好な防汚性を発揮します。
- 3 亜酸化銅などの金属系防汚剤を含んでいないので、プロペラの腐食を起こす心配がありません。
- 4 防汚塗料は有機錫化合物などの防汚剤を一切含みません。

### ■ セット内容



ペラクリンセット Jr. (ジュニア)  
約0.6m<sup>2</sup> 塗装可能  
(直径50cm位のプロペラが目安)



ペラクリンセット mini (ミニ)  
約0.3m<sup>2</sup> 塗装可能  
(直径25cm位のプロペラが目安)



■ 付着強化剤はそれぞれのセットで組成が異なりますので、他セットとの共用は出来ません。

セット内容		Jr.	mini
プライマー	ペラクリンプライマー 主剤	80 g	40 g
	ペラクリンプライマー 添加剤	20 g	10 g
	ペラクリンプライマー 付着強化剤	20 g	10 g
防汚塗料	バイオクリンDX	100 g	50 g
ハケ		2本	2本

### ペラクリンセット Jr. (ジュニア) / ペラクリンセット mini (ミニ)

#### 塗料性状

		バイオクリンDX				ペラクリンプライマー			
混合比		-				主剤: 添加剤: 付着強化剤=4:1:1			
重量VOC		13wt%				82wt%			
塗付量(理論値)		88g/m <sup>2</sup>				77g/m <sup>2</sup>			
膜厚	ウエット	89μm				86μm			
	ドライ	75μm(※)				8μm			
気温	5℃	10℃	20℃	30℃	5℃	10℃	20℃	30℃	
	乾燥時間 (ドライ膜厚: 38μm)	指触 45分	30分	20分	15分	20分	15分	10分	7分
塗装間隔	硬化	10時間	7時間	5時間	4時間	2時間	1.5時間	1時間	30分
	最短	10時間	7時間	5時間	4時間	6時間	4時間	3時間	2時間
注水までの時間	最長	5日	5日	5日	5日	1日	1日	1日	1日
	最短	11時間	8時間	6時間	5時間	-	-	-	-

#### 塗装条件

塗装方法	ハケ塗りのみ	
気象	温度: 5℃以上、湿度: 85%RH以下	温度: 5℃以上、湿度: 85%RH以下
適合上塗	-	バイオクリンDX
適合下塗	ペラクリンプライマー	-

#### 危険物表示

	バイオクリンDX	ペラクリンプライマー		
		主剤	添加剤	付着強化剤
消防庁登録記号	023215	19092A	191101	023215
引火点	26.0℃	17.5℃	15.0℃	26.0℃
消防法危険物区分	第二石油類	第一石油類		第二石油類
爆発限界(体積%)	下限 1.1 上限 7	下限 1.20 上限 12		
有機溶剤区分	第二種有機溶剤			

#### 使用上の注意

##### ペラクリンプライマーの取扱い

- 1 塗装中は顔料の沈降を防ぐため、ゆるやかな攪拌を続けて下さい。
- 2 プロペラおよび装置洗浄には、Seajetシンナー Aをご使用下さい。  
また、洗浄に使用したシンナーは決して他の塗料に混合しないで下さい。  
剥離の問題が起こる可能性があります。
- 3 混合比が異なりますと性能を十分発揮できない恐れがありますので、  
正しく配合して下さい。

#### 備考

VOC量は、塗料配合から計算した理論値です。

(※)ドライ膜厚 2回塗りで75μmが標準仕様です。

# seajet 132

# seajet 137

美しさ長持ち！  
プロ仕様と簡単塗装の2ラインナップ。

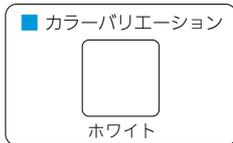
ハル用上塗り塗料 **seajet 132** **seajet 137**

耐候性(光沢保持性)や耐衝撃性などに優れた性能を持つスプレー塗装専用のプロ仕様「Seajet 132」。1液型で塗装作業が簡単な「Seajet 137」。TPOに合わせて選択いただける2つのラインナップで、皆様の愛艇を美しく彩ります。



■ 容量：  
Seajet 132  
1.2kgセット  
  
Seajet 137  
0.8ℓ

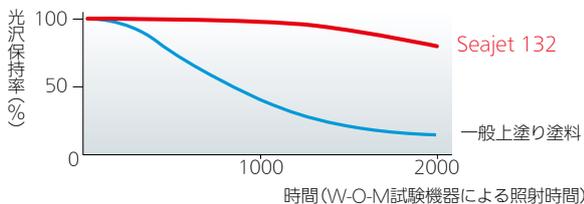
## seajet 132 ポリウレタン樹脂系上塗り塗料(スプレー塗装専用)



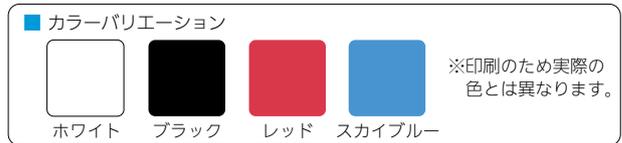
### ■ 特長

- 1 耐候性(光沢保持性)に優れ、長期間美しさを保持します。
- 2 耐衝撃性、耐摩耗性、硬度等の機械的強度が優秀です。
- 3 FRP(ゲルコート面)との密着性に優れています。

### ■ 耐候性(光沢保持性)



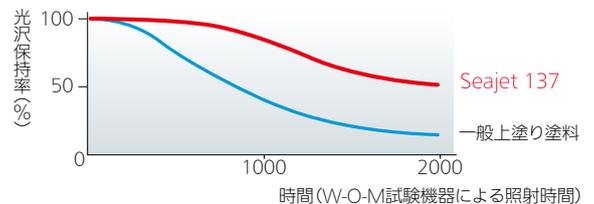
## seajet 137 1液型アクリル樹脂系塗料



### ■ 特長

- 1 FRP面にダイレクト塗装(直塗り)が可能です。
- 2 耐候性(光沢保持性)に優れ長持ちします。
- 3 カラフルに化粧が出来ます。

### ■ 耐候性(光沢保持性)



## Seajet 132 / Seajet 137

### 塗料性状

		Seajet 132				Seajet 137			
混合比率(質量比)		主剤：硬化剤 = 5 : 1				-			
重量VOC		37.2wt%				47.3wt%			
塗付量(理論値)		93 ~ 133g/m <sup>2</sup>				120 ~ 171g/m <sup>2</sup>			
膜厚	ウェット	75 ~ 107μm				101 ~ 145μm			
	ドライ	35 ~ 50μm				35 ~ 50μm			
気温	5℃	10℃	20℃	30℃	5℃	10℃	20℃	30℃	
	乾燥時間	指触 50分	30分	20分	10分	1.5時間	1.2時間	1時間	30分
塗装間隔	硬化	12時間	8時間	6時間	4時間	12時間	8時間	5時間	4時間
	最短	8時間	6時間	4時間	2時間	12時間	8時間	5時間	4時間
可使時間	最長	-	-	-	-	-	-	-	-
	24時間	20時間	16時間	8時間	-	-	-	-	-
熟成時間		30分	30分	30分	30分	-	-	-	-

### 塗装条件

塗装方法	エアースプレー専用	エアースプレー、ハケ、ローラー
気象	温度:5℃以上、湿度:85%R.H.以下	温度:5℃以上、湿度:85%R.H.以下
希釈シンナー	Seajet シンナー B	Seajet シンナー A
希釈率	10~30%	エアースプレーの場合 10~30%
適合下塗、下地	ゲルコート面 Seajet 013、Seajet 020	ゲルコート面
適合上塗	Seajet 132	Seajet 137

### 危険物表示

	Seajet 132		Seajet 137
	主剤	硬化剤	
消防庁登録記号	2163SB	219104	1746SB
引火点	25.3℃	29.5℃	25.7℃
消防法危険物区分	第二石油類		
爆発限界(体積%)	下限 1.0	上限 11.5	下限 1.1 上限 15.0
有機溶剤区分	第二種有機溶剤		

### 使用上の注意

- 1、「Seajet 132」の場合、硬化剤は湿気と反応して性能が低下するので、取り扱いに十分留意下さい。
- 2、火気には十分注意して下さい。
- 3、希釈用シンナー、洗浄用シンナーは必ず専用シンナーを使用して下さい。
- 4、「Seajet 132」は、スプレー塗装を推奨していますので、ハケ、ローラーでの化粧仕上げは避けて下さい。

### 備考

VOC量は、塗料配合から計算した理論値です。

FRPに優しく、簡単に塗膜を剥がす!

# seajet 441

## 塗膜剥離剤



FRP(ゲルコート面)に優しい中性タイプの塗膜剥離剤「Seajet 441」。塗り替えの際の旧塗膜除去には、人体・環境に優しく安全で臭いの少ないSeajet 441をご使用下さい。

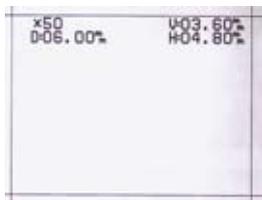


■ 容 量 : 2ℓ

### ■ 特長

- 1 FRP(ゲルコート)を傷めません。
- 2 クロロメタン系の溶剤を含まず、人体・環境に安全です。
- 3 旧塗膜の除去効果に優れています。
- 4 あらゆる角度の面に厚塗りが可能です。
- 5 刺激臭の少ない中性タイプです。

### ■ 剥離剤(リムーバー)処理後のFRP面



Seajet 441

ゲルコートの損傷を生じません。



従来品

ゲルコートが損傷し内部のグラスファイバーが露出。

### ■ 使用方法

- 1 上梁後、水洗により船底部の付着物(付着生物、スライム等)及び塩分を除去し乾燥して下さい。  
●付着物、塩分、水分は剥離剤の浸透を妨げ、剥離効果を低下させます。
- 2 除去したい塗膜上にハケで、できるだけ厚く「Seajet 441」を塗付して下さい。  
●「Seajet 441」は、使用される前に十分攪拌を行って下さい。
- 3 15~30分放置後スケラー等により軟化した塗膜を除去して下さい。  
●1回の処理で剥離が不十分な場合、2~3の操作を繰り返し、完全に塗膜を除去して下さい。
- 4 船底塗料のシンナーで拭き、清浄なゲルコート面を露出させて下さい。

作業完了

注)長時間放置するほど旧塗膜の内部に浸透し、剥離性は向上しますが、溶剤が飛散しやすい環境では表面乾燥を生じる傾向があります。従って、一度に塗付する面積や放置する時間を調整して作業を行って下さい。

**!** 塗膜をスムーズに剥離するため、「Seajet 441」はできるだけ厚く塗付して下さい。  
※500μm程度の厚み(4~5年経過)を剥離させるのに、1㎡あたり約0.4ℓの「Seajet 441」が必要です。

## Seajet 441

### 塗料性状

色	乳白色
重量VOC	92wt%
液性	中性
塗付量(理論値)	4~5年経過した500μm程度の塗膜を剥離させる場合 396 g/㎡ (目安として、2ℓ 1缶につき約5㎡の処理が可能です。)

### 危険物表示

消防庁登録記号	245005
引火点	38.5℃
消防法危険物区分	第二石油類
爆発限界(体積%)	下限 0.5 上限 12.0
有機溶剤区分	第二種有機溶剤

### 使用上の注意

- 1, 「Seajet 441」は、ゲルコート面に対して基本的に影響しない剥離剤ですが、船歴やゲルコートの種類によっては影響を与える場合があります。使用前には必ずパッチテストの実施をお願いします。
- 2, 「Seajet 441」は、低刺激タイプの剥離剤ですが、剥離された船底防汚塗料には有害なものがありますので、防護メガネ、マスク、手袋をして作業して下さい。また、廃棄物は地域の規則に従って処理して下さい。

### 備 考

- 1, VOC量は、塗料配合から計算した理論値です。
- 2, 塗付量は、劣化塗膜の種類や状態が変わる可能性がありますので、データは目安として下さい。

# seajet シンナー

## Seajet専用シンナー

塗料の性状に合わせて設計しておりますので、製品に適合したシンナーをご使用下さい。



### Seajet シンナーA

- 容 量: 0.5ℓ
- Seajet 015、033、034、037、137用



### Seajet シンナーB

- 容 量: 0.5ℓ
- Seajet 132用



### Seajet シンナーD

- 容 量: 0.5ℓ
- Seajet 013、020用

## ■ 船底防汚塗料の塗り重ね適正表

中国塗料の試験データに基づく。(2012年1月現在)

前回塗装した塗料		今回塗装する塗料		
		Seajet 033	Seajet 034	Seajet 037
中国塗料	Seajet 033	○	△※	△※
	Seajet 034	○	○	○
	Seajet 035	△	△※	△※
	マリンスター30G	○	△※	△※
	ニューマリンゴールド	○	△※	△※
	ニューマリンゴールドDX	○	○	○
ヤマハ発動機	アクアキーパー	○	△※	△※
	パワープロテクター	○	△※	△※
インターナショナルエピグラス	ボートガードエキストラ	○	△※	△※
	ミクロンCSC	○	△※	△※
	クルーザースペリオ	○	△※	△※
	インタースピード2000	△	△※	△※
	トライラックス、VCオフショアー	×	×	×
日本ペイントマリン	うなぎ一番	○※	△※	△※
	うなぎ一番 あざやか	○	○※	○※
	ボートガードエキストラ	○	△※	△※
	ウルトラ、ブライトウルトラ	×	×	×
	クルーザーレインボー	○	△※	△※
NKMコーティングス	Super Cruise01	○	○※	○※
	Super Cruise02	○	○※	○※
	Super Cruise03	○	○	○
	ブラドルズ、ニューブラドル	○	○※	○※
	スーパードルフィン	○	△※	△※
	カラーエクシオン、宝船	○	○	○
カナエ塗料	大漁クリーン	○	△※	△※
	スーパー大漁	○	○	○
公進ケミカル	黒潮1号 & 黒潮2号	○	△※	△※

○	直塗り可能。
○※	直塗り可能。 (但し、タワシ・サンドペーパー等でのこすり洗いが必要。)
△	バインダーコートとして「Seajet 015」を使用。
△※	旧塗膜をタワシ・サンドペーパーでこすり洗後、バインダーコート「Seajet 015」を必ず塗装。 注)旧塗膜処理が不十分な場合、旧塗膜スケルトン層の影響で発砲や付着性不良が発生する可能性があります。
×	旧塗膜を除去し、バインダーコートとして「Seajet 015」を使用。

**!** 船底防汚塗料「Seajet 033、034、037」を新艇または無塗装のFRP面に塗装する場合は、プライマー(バインダー)として「Seajet 015」が必要です。



## ■ アイコン表示について



FRP船の船底に塗装が可能。



アルミ船の船底に塗装が可能。



1種の塗料だけで乾燥・硬化するタイプ。



主剤と硬化剤の2つの液を混合して使用するタイプ。



ハケでの塗装が可能。



エアスプレーでの塗装が可能。



ローラーでの塗装が可能。



塗装機器の洗浄や希釈に使用するシンナー。



1缶(1セット)で塗装できる面積。塗膜性能を発揮させるための推奨膜厚で塗装した場合の面積を記載しています。

## ■ 注意事項

- MSDSおよび容器に表示の注意事項をよく読んで取り扱い下さい。
- 2液型の製品は、混合比が異なりますと性能を十分発揮できない恐れがありますので、正しく混合して下さい。また一度、主剤と硬化剤を混合すると時間が経過するに従い、塗料の硬化が進みますので、ご注意下さい。
- よくかき混ぜて均一になってから使用して下さい。
- 雨天、高湿度時の塗装は避けて下さい。
- 塗装時、保護メガネ・マスクを着用して下さい。また、長袖・長ズボンなどで皮膚の露出は極力抑えて、塗料が付着してもよい服装で作業することをお奨めします。
- 塗料は倉庫内に貯蔵して下さい。
- 残った塗料を保存する場合、専用シンナーを塗料の表面に張り、蓋を完全に閉じてから冷暗所にて保存して下さい。
- 本製品に当社が指定する塗料やシンナー以外の添加物等を混合すると、品質の異常や安全上の問題が発生する可能性があります。本製品の説明書に記載されている使用条件、使用上の注意事項等を逸脱した使用により生じる損害につきましては、当社は責任を負いかねますので、ご了承下さい。



<http://www.products-cmp.jp/seajet>

Seajetシリーズに関する新製品や展示会情報などを随時Web配信しています。また、塗装マニュアルなども掲載しています。

詳しい情報はホームページで

SEAJET シージェット

検索



**We put you miles ahead**

■ **本カタログの記載内容について**

---

- 本カタログに記載の製品色見本は、印刷のため実際の色調とは異なっております。
- 本カタログに記載の製品内容は、予告なく変更する場合がございます。